

授業科目	言語発達障害 I (援助法—基礎)				
担当者	井上直哉・川畑武義				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

### ■ 授業目的・内容

対人援助職として仕事を進めていく上で必要な観察の視点・方法とそれらを言語化・文字化してまとめ、実習日誌や報告書、カルテ等を通して伝えることを学ぶ。第1回～第8回までは、観察と記録の初歩的な事項と、主に成人領域のVTR等を活用した講義と演習を実施する。第9回～第15回までは、小児領域のVTR等を活用した講義と演習を実施する。

### ■ 到達目標

臨床実習 I の日誌作成を念頭に、基本的な行動観察や記述の視点・方法を習得する。

### ■ 授業計画

第1回	成人の観察と記録	概要及び視点について
第2回	成人の観察と記録	概要及び視点について模擬症例を用いたワーク
第3回	成人の観察と記録	失語症者 VTR 1 個人ワーク
第4回	成人の観察と記録	失語症者 VTR 1 グループワーク
第5回	成人の観察と記録	失語症者 VTR 1 グループワーク発表と解説
第6回	成人の観察と記録	失語症者 VTR 2 グループワーク
第7回	成人の観察と記録	失語症者 VTR 2 グループワーク発表と解説
第8回	成人の観察と記録	失語症者 VTR 3 個人ワーク
第9回	小児領域における観察及び評価の視点	
第10回	小児の観察と記録	概要及び視点について模擬症例を用いたワーク
第11回	小児の観察と記録	小児 VTR 1 個人ワーク
第12回	小児の観察と記録	小児 VTR 1 グループワーク
第13回	小児の観察と記録	小児 VTR 2 個人ワーク
第14回	小児の観察と記録	小児 VTR 2 グループワーク
第15回	小児の観察と記録	小児 VTR 3 個人ワーク

### ■ 評価方法

提出物100%

### ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

演習が多い講義内容となっています。講義内にて適宜、各自で取り組む課題を出す予定です。

### ■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編  
 著者名：深浦順一・為数哲司・内山量史 編著  
 出版社：建帛社

書 名：言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編  
 著者名：深浦順一・内山千鶴子 編著  
 出版社：建帛社

### ■ 参考図書

--

## ■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。